

韓国における製材品・合板・木質ボード類の需給動向 (合板)

2. 合板

(1) 生産量

2023年における合板の生産量は国内の建設景気、特に建築着工面積の減少で前年対比に18.7%減少した213千 m^3 を示した。用途別の生産量をみると、普通合板の生産量が前年対比に17.7%減少した190千 m^3 、加工合板も同対比25.8%減少した23千 m^3 を示した。

表-2. 合板の生産量

(単位：千 m^3)

区分	2018	2019	2020	2021	2022	2023
普通合板	235	198	193	209	231	190
加工合板	45	45	40	32	31	23
合計	281	243	233	241	262	213

資料： 国立山林科学院. 2024森林・林業展望

国内の合板生産会社は主に12mm以上のコンクリート枠組み用を生産している。2023年における厚さ別の普通合板の生産量をみると、厚さ12mm以上の普通合板は前年対比に10.8%減少した157千 m^3 を示し、総生産量の82.6%のシェアを占めている。厚さ6.0~11.9mmの普通合板は同対比に41.5%減少した31千 m^3 を示した。厚さ3.6~5.9mmの普通合板は前年と同じである2千 m^3 を示した。

表-3. 厚さ別の普通合板の生産量

(単位：千 m^3)

区分	2018	2019	2020	2021	2022	2023
12mm以上	152	153	165	174	176	157
6.0~11.9mm	78	41	25	33	53	31

3.6～5.9mm	5	3	3	2	2	2
3.5mm以下	1	-	-	10	-	-
合計	235	198	193	209	231	190

資料： 国立山林科学院. 2024森林・林業展望

(2) 輸入量

2023年の合板の輸入量は建設景気の沈滞が続いていることによって建設用材の需要減少で前年対比に5.2%減少した1,329千m³を示した。合板の主な輸入国はベトナム、インドネシア、中国などであり、ベトナムからの輸入量は前年対比に8.8%減少した623千m³を示した。インドネシアからの輸入量は同対比に11.2%減少した380千m³、中国からの輸入量も同対比に3.0%減少を131千m³を示した。

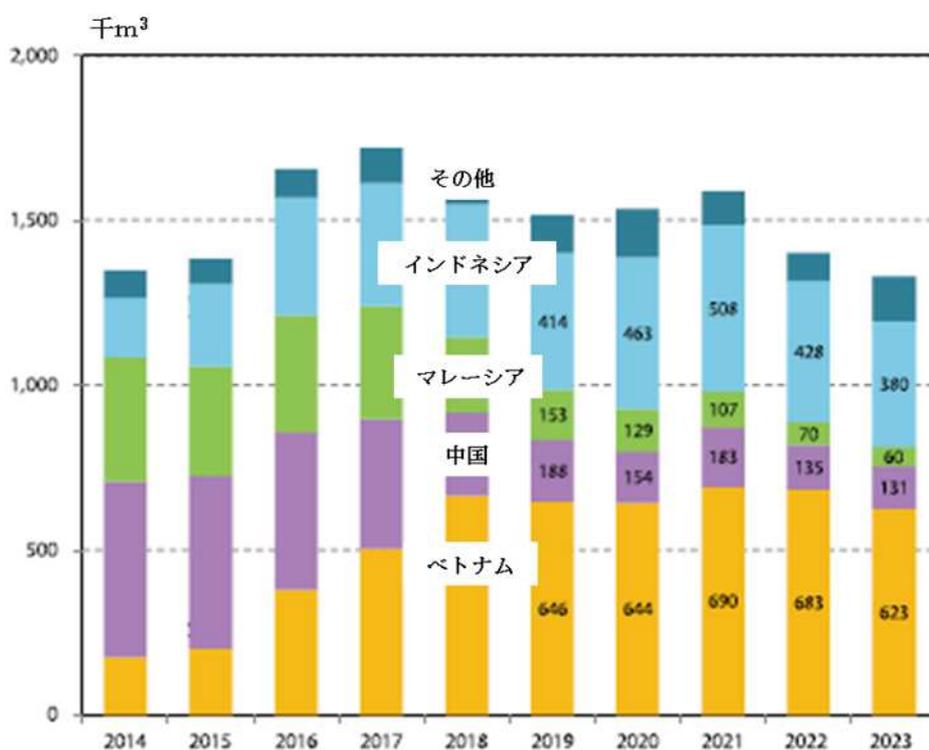


図-4. 国別の合板の輸入量

(3) 消費量

合板の消費量は2021年の建設着工面積の増加及び住宅リモデリング需要の増加で一時的に消費量が増加傾向に転じたが2022年の金利引上げに伴う建設景気の沈滞で再び減少傾向へ転じた。2023年の合板の消費量は前年対比に7.3%減少した1,539千m³を示した。

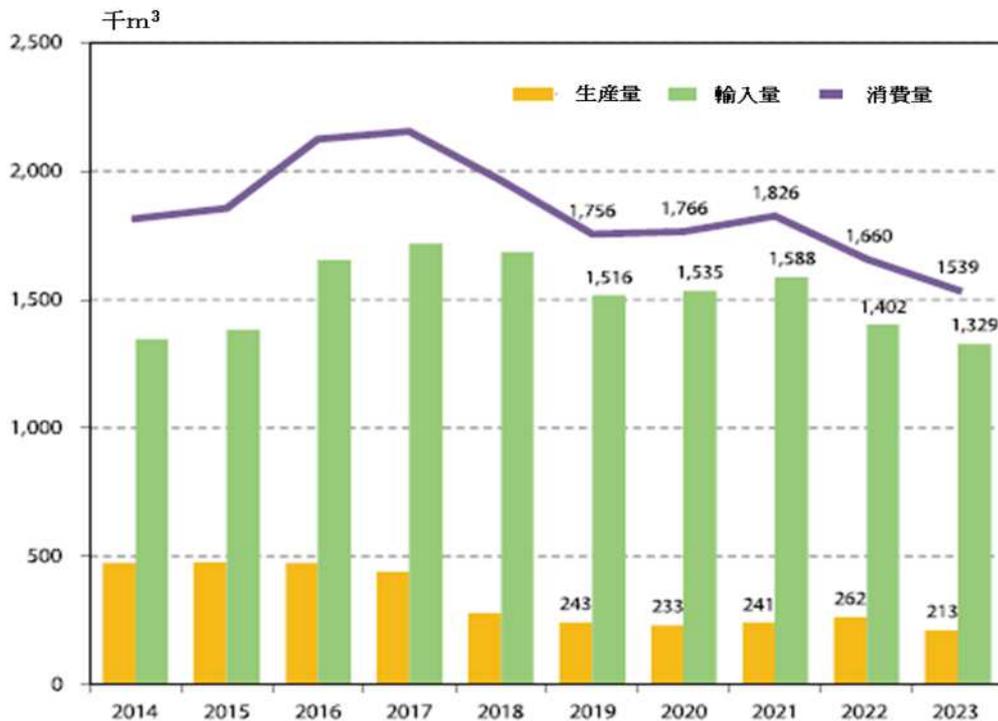


図-5. 合板の消費量・生産量・輸入量

(4) 需給展望

2024年における合板の消費量は輸出景気の好調に向かっている展望によって包装用材は増加するが、建設景気の沈滞による建設用材の需要減少で前年対比に1.3%減少する1,519千m³を記録すると展望される。

2024年の合板の生産量はベトナムからの輸入合板との競争及び合板需要の減少などの影響で前年対比に7.5%減少する197千m³を示していると展望される。

2024年の合板の輸入量は為替（KRW/\$）及び海上運賃の安定化などの肯定的な要因にもかかわらず建設景気の沈滞による需要減少で前年対比に0.3%減少する1,325千m³を記録する展望される。

表-4. 合板の需給展望

(単位：千m³)

区分	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
消費量	1,766	1,826	1,660	1,539	1,519	1,499	1,479	1,458	1,437
生産量	233	241	262	213	197	181	165	148	131
輸入量	1,535	1,588	1,402	1,329	1,325	1,321	1,317	1,313	1,309
輸出量	2	3	3	3	3	3	3	3	3

資料：国立山林科学院. 2024森林・林業展望